

63 被覆栽培による品質向上試験

福島県たばこ試験場・平成10～12年度試験成績概要

- 1 部門名 特用作物—タバコ—環境調節 分類コード 06-01-17000000
2 担当者 吉岡邦雄
3 要旨

パスライトを用いた被覆栽培が品質収量に及ぼす影響について検討した。

- (1) パスライトで被覆することにより、無被覆に比べ1～2℃程度の保温効果が得られるため、降霜による被害を軽減できる。
(2) 被覆期間は定植後5週間としたが、被覆内の平均気温が無被覆に比べ2℃程度高く推移するため、初期生育の確保に有効である。
(3) 試験を実施した3カ年は気象経過が順調だったため、定植後の低温による生育阻害が少なく、開花時の生育や収量品質に被覆の効果は少なかった。
(4) 以上のことから、被覆栽培は収量品質へ影響は小さいが、定植後に低温や降霜の影響を受けやすい地域(川内、飯舘、小野など)では、コストを考慮のうえ被覆栽培の導入を検討する必要がある。